観聚和泉だより

観聚学舎　狛江市立狛江第一小学校
５月号
令和６年５月１日発行
http://www.komae.ed.jp/ele/01/

狛江第一小学校の良さについて

副校長 北村 真

～ 外からみた本校のスタンダード ～

校庭の八重桜が見頃を迎え、一小通りのつつじが新緑の若葉に映える美しい季節となりました。「水と緑のまち」へ副校長として着任し、一ヵ月過ぎました。好奇心にあふれ、明るく、友達に優しい子供たちに囲まれて働くことができることを、大変嬉しく思います。私にとって、7校目の学校となります。他地区からやってきた、外からの視点で子供たちの学びの場である「狛江第一小学校」の良さについて紹介させて下さい。

まず、気持ちの良い挨拶ができる子が多い。相手の目を見て、はきはきと話し、軽く会釈する。挨拶を交わした相手の心が浮き立つような、気持ちのこもった挨拶ができる子がたくさんいる。つぎに、話をしっかり聞き、進んで行動できる子が多い。1年生の朝のお世話を6年生が担当しているのですが、「どうしたの？一緒にやろう！」と相手が何で迷っているかを聞き出し、代わりにやるのではなく、小さな子の自立を手伝う。そして、保護者の皆様が学校に対して協力的であること。4月保護者会で学校長・学年団より今年度の方針を伝えたところ、「我が家でも子供ファーストの視点で子供に向き合ってみます」「先生たちを守ることは子供たちを守ることにつながると分かりました」「インクルーシブ教育の大切さについて考える機会をありがとうございます」など、たくさんの保護者の方から嬉しい声を聞かせていただきました。保護者が温かく見守っている、子供たちがまっすぐに育っている、そして先生たちがやる気に満ちている。この学校に来て、スタンダードとして定着している「狛江第一小学校の良さ」に日々感銘を受けております。

このような毎日の学校生活の中に「良さ」が溢れている学校は、並々ならぬ先人の方々の努力の積み重ねがあったからこその「今」だと思います。創立152年の伝統を引き継ぎ、今年は荒川統括校長の下で「子供ファースト」「働きがいがあり、働きやすい職場環境の構築」を軸に、「狛江第一小学校の良さ」に磨きをかけ、子供たちが笑顔で安心して通えるような学校にできるよう努力して参ります。引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

校内別室指導について

不登校及び不登校傾向や別室であれば登校できる等、児童一人一人の状況に応じた支援を行う「校内別室指導支援配置事業」が始まりました。お問合せ、御相談は、副校長または特別支援コーディネーター（養護教諭）までお願いします。

５月生活目標

『時間を守ろう』

集団生活を営む上で、時間を守ることは、とても大切なことです。また、将来、社会に出て生活していくためには、決められた時間の中で、するべきことを考えて行動することが必要です。

学校でも、時間を意識して行動するよう、指導していきます。

セーフティー教室について

５月１１日（土）に下記の内容でセーフティー教室を体育館で実施します。当日は学校公開日のため、保護者の皆様の参観も可能です。奮って御参加ください。

１校時：4・5年「ネットに関わる犯罪の防止・情報モラル」
2校時：1・2・3年生「不審者対応・連れ去りの防止」
3校時：6 年生「薬物乱用の防止」

リボン別下校

同日の4校時には、特別警報等の発令時を想定し、居住地の方面別（ランドセルに付けているリボンの色別）に子供たちが安全に気を付けて、まとまって下校をする訓練を実施いたします。下校時間は11時50分から12時頃を予定しています。

なお、リボン別下校は公開いたしません。保護者の皆様は通学路等での見守りをお願いします。